

## 地方公共団体で公会計の整備が進まない背景

「財務書類の作成状況等に関する調査について(平成 20 年 3 月 7 日付総財務第 60 号)」と併せて地方公共団体に提出を依頼した「取組みの中で生じた課題等」での意見及び事務局で個別に行った聞き取り結果を整理したもの。

◎ 近隣団体で作業が始まっておらず横並び意識から

- ・ 近隣団体で作業に着手しているところがなく、横並び意識から作成していない。
- ・ 必要な作業量のめどをたてておらず、近隣団体の作業を横目に見ながら 20 年度決算分を 21 年度中に作ればいと漠然と考えていた。
- ・ 複式簿記、発生主義などモデルへの理解が浅く、財務4表の作成意義の認識も低い。
- ・ 基準モデル、改訂モデルのどちらを採用すべきか判断がつかない。

◎ 作業量が膨大で財務諸表の整備に必要な人員と予算が確保できない

- ・ 小規模の町村役場では財政担当が2名で予算、決算作業を手掛けているところも多く、公会計整備の事務に人員を割けない。
- ・ 改訂モデルとするにしても、有形固定資産の計上には膨大な過年度分の決算統計の数値の集計作業が必要。従来の総務省方式とも異なる減価償却の手法が採用されているため、作業開始早々に行き詰まってしまう。
- ・ 会計知識に詳しい職員がいない。
- ・ システム導入・改修はもとより、集計作業や固定資産台帳整備のために必要なソフトやワークシートの作成のための外部委託費用の予算さえ確保が難しい。

◎ 庁内や連結対象団体との作業体制が築けない

- ・ 管財課、税務課、土木部局、情報関係課など関係課の協力体制がとれず、作業が始められない。
- ・ 連結対象団体の作業への協力が必要。

### ◎ 連結財務諸表の作成手順が不明確

- ・ 普通会計のB/Sは何とか作ったとしても、連結財務諸表の作成については、実務研究会の報告書でも具体的な作業手順までは書かれておらず、何からとりかかっていいのかわからない。
- ・ 連結財務諸表を作成している団体の作成事例を紹介してほしい。
- ・ 連結財務諸表作成にあたっての作業手順を担当者が考えなければならず時間を要するため、作成事務の手引書を作成してほしい。

### ◎ 資産評価の実務内容が不明確

- ・ 資産の洗出しの手順の例示をしてほしい。
- ・ 売却可能資産の範囲の決定、段階的な対象拡大方法を示してほしい。
- ・ 妥当な評価の事例を紹介してほしい。
- ・ 取引事例がまったくない山間地の評価方法を示してほしい。

### ◎ 活用方法がわからず、財務4表の作成の意義が見出せない

- ・ 人的コストを含む導入費用に見合う活用ができなければ、作成できない。
- ・ 管理会計の手法がとれるというが、具体的にどんな作業をしてよいか見当がつかない。

### ◎ 実務的な問合せに対応できる相談体制が必要

- ・ 公認会計士等助言が得られるが、身近にいない。
- ・ 実務的な問合せに対応する窓口がない。

## 公会計の整備・着手が進んでいない要因と対策案

### ■要因

1. 近隣団体でも作業が始まっておらず、横並び意識から

2. 作業量が膨大で、整備に必要な人員予算が確保できない

3. 庁内関係課や連結対象団体との連携不足

4. 連結財務諸表の作成手順が不明確

5. 資産評価実務が不明確・入手困難な評価情報

6. 活用方法がわからず意義を見いだせない

7. 実務的な問合せに対応できる相談体制が必要

### ■対応案

都道府県の役割強化  
作成済団体の総務省HP掲載

健全化法との関連付け、集計  
作業用ワークシートの配布等

庁内横断的な事務体制、市長  
会、町村会等での依頼

明確な実務手順の  
例示

活用策の提案

総務省によるQ&Aの充実強化、  
都道府県による研究会の設置